

ひかりのこ

3月園便り

認定こども園
聖ミエル幼稚園
2024年2月16日

月主題：かみさまありがとう

「卒園式まであと...」

3学期に入り、幼児クラスの担任の先生の仕事はますます忙しくなってきました。日々の保育の準備や、記録もありますが、卒園、進級に向けて様々な仕事が入ってくるのです。先生たちは仕事をこなしながら、「知ってた？卒園式まで、もう30日ないんだよ。」「卒園式が過ぎたら、あのかわいい子どもたちと会えなくなると思うと、涙が出てくるよ。」「そして2か月もしないで、また、小さい子どもたちが入ってくるんだよ。その時には頼れる年長さんたちがいないんだよ。」などと話しています。年長さんとの別れが、今から辛くてしょうがないのです。

子どもたちも担任の先生が大好きです。ちょっと前、園長は年長の男の子に、声をかけられました。

Aくん「園長先生、ぼくね、園長先生のこと幼稚園で2番目に好きだよ。もちろん1番好きなのは、担任のB先生さ！」園長「あ、ありがとう...。」(ちょっと複雑。でも、当たり前かあ。)

年中のC君にも、声をかけられました。

Cくん「ぼくの1番好きな先生は担任のD先生なんだ。」園長「に、2番目はだあれ？」(ちょっと期待して) C君「あとは残りの先生みんな！」園長(そうだよなー！)

担任の先生とクラスの子どもの心はしっかりとつながっていて、入り込む隙間もないんだなあ、と感じます。大好きな大人と、大好きなお友達に囲まれた園生活。最高です。その中で、子どもたちには、人を好きになり、信じ、共に頑張ろう、とする心が芽生えていくのです。子どもたちにとって、初めての社会である幼稚園で、このような豊かな心の交流がなされていることを、とても嬉しく思います。

園長 渡部 良子

キリスト教保育

「春を待つ季節」

今年の2月14日から3月30日までの46日間を教会では「大斎節(たいさいせつ)」と呼びます。自分の生き方を見つめ直し、神様の示す生き方へ立ち返ること、直後に控えている復活日(イースター)までの心の備えをする期節です。大斎節は英語で「Lent」と書きます。

これは春に向けて日が長く(long)なっていくという意味から付けられた名前です。暗くなる時間が一日一日と遅くなるのを感じながら、春を待つ季節でもあります。三学期、子ども達にとってこの時期は進級する前の少しだけ緊張する季節かもしれません。新しい環境に馴染むことは大人にとっても簡単なことではありません。でも、一年間のいろんな経験の中で、ひとつひとつできることが増えてきて、失敗したこと、できなかったことも前よりはじょうずにできるようになって、一つ上のお兄さんお姉さんになる自信がついてきていることでしょう。

長い冬に深く積もった雪は、やがて春に溶けて雪解け水になり、大地を潤して、春に芽生える新しい命を育む恵みに変わります。子ども達のこれまでの学びや体験が、次の成長への扉を開くカギとなりますように。

チャプレン 司祭 上平 更

